

ク……ッ

何をしたの
か知らんが

この私が、
ゴブリンごときに
負けるはずが

薄気味悪い洞窟の中、
伝説的存在とまでうたわれた彼女は
不可解にも、一匹のゴブリンによって
窮地に立たされていた。

充血しきった肉棒の先が彼女のまんこの
割れ目を優しくなぞるように挿入口を探る。
回しか動かせない彼女が必死に抵抗する一方で
久方ぶりの交尾を目前に彼女の下の口は
ぐちゅぐちゅと愛液を垂れ流し挿入を懇願していた。



んおおおおおっ

ゴブリン様のおち○ほ気持ち
良しゅぎましゅッ

ンッオッオオッ
決めまひたッ

わらひっ…ッおッ
ゴブリン様のお嫁
しやンッになりまひゅッ

つよつよゴブリン様の
子供たくさん産みましゅ

だからあッ
わらひの、
敗北メスマ○コにッ
赤ちゃんのもと
びゅーびゅーくだしやいッ







